

令和3年度
(2021年度)

東京都予算案の概要
(抜粋)

令和3年1月
東京都

令和3年度予算の主要事項

令和3年度予算の7つの柱

東京の未来を切り拓くための戦略的な取組や、コロナ禍により大きな影響を受けた社会・経済の早期回復に向けた主要な取組を7つの柱で整理

I 「人」が輝く、誰もがいきいきと活躍できる都市

	予算額（前年度増減）
1 子供の笑顔や子供を産み育てたい人で溢れる社会の実現	2,929億円（+183億円）
2 新しい時代を切り拓く人材の育成	2,833億円（+80億円）
3 世界に誇る長寿社会の実現	756億円（+6億円）
4 誰もが自分らしい生き方を選択し、活躍できる社会の実現	515億円（+178億円）
5 ダイバーシティ・共生社会の実現	260億円（▲3億円）

II 世界一安全・安心、便利で快適な都市

	予算額（前年度増減）
1 暮らしの安全・安心の確保	558億円（+29億円）
2 災害の脅威から都民を守る都市づくり	3,500億円（+243億円）
3 高度な都市機能を備え、便利で快適な東京の実現	3,193億円（▲376億円）

III 日本の発展を牽引し、将来にわたって世界をリードする東京

	予算額（前年度増減）
1 世界経済を牽引する都市の実現	125億円（+27億円）
2 中小企業・地域産業の支援	4,053億円（+1,142億円）

IV 美しく、魅力溢れる都市

	予算額（前年度増減）
1 ゼロエミッション東京の実現	403億円（+60億円）
2 水と緑溢れる都市環境の形成	597億円（▲5億円）
3 世界を惹きつける観光都市の実現	156億円（▲31億円）

V 「スマート東京」の実現

	予算額（前年度増減）
1 「電波の道」で「つながる東京」	0.6億円（▲29億円）
2 公共施設や都民サービスのデジタルシフト	144億円（+10億円）
3 行政のデジタルシフト	79億円（+33億円）

VI 東京2020大会の開催とレガシーの創出

	予算額（前年度増減）
1 東京2020大会の開催とレガシーの創出	4,028億円（+758億円）

VII 多摩・島しょの振興

	予算額（前年度増減）
1 持続可能な暮らしやすいまちづくり	2,054億円（▲2億円）
2 豊かな資源を活かした地域の活性化	334億円（+102億円）
3 島しょにおける個性と魅力溢れる地域づくり	241億円（▲32億円）

SDGsの視点で施策を展開

- SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を年限とする国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17のゴールから構成され、全ての国々の共通目標となっています。
- 令和3年度予算に計上した、東京の未来を切り拓くための戦略的な取組や、コロナ禍により大きな影響を受けた社会・経済の早期回復に向けた取組は、「誰一人取り残さない」SDGsの理念と軌を一にしたものです。



1. 貧困をなくそう	10. 人や国の不平等をなくそう
2. 飢餓をゼロに	11. 住み続けられるまちづくりを
3. すべての人に健康と福祉を	12. つくる責任つかう責任
4. 質の高い教育をみんなに	13. 気候変動に具体的な対策を
5. ジェンダー平等を実現しよう	14. 海の豊かさを守ろう
6. 安全な水とトイレを世界中に	15. 陸の豊かさも守ろう
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	16. 平和と公正をすべての人に
8. 働きがいも経済成長も	17. パートナリシップで目標を達成しよう
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	

I																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
○		○	○	○			○		○	○		○				○	1
○		○	○	○			○	○	○						○	○	2
○		○	○	○			○	○	○	○		○				○	3
○		○	○	○			○	○	○							○	4
○		○	○	○			○	○	○	○					○	○	5
II																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
○		○	○			○	○	○	○	○		○			○	○	1
○		○	○		○			○		○		○		○	○	○	2
		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○			○	3
III																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
		○	○	○			○	○								○	1
○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○		○	2
IV																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
		○	○		○	○		○		○	○	○	○	○		○	1
	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	2
							○	○	○	○						○	3
V																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	○	○	○			○	○	○	○	○				○		○	1
○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	2
○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	3
VI																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
		○	○			○	○	○	○	○		○		○		○	1
VII																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○		○	1
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	3

凡例

凡例 1

- 新** : 令和3年度新規事業（令和2年度補正予算において新たに計上した事業を除く）
- 大学** : 大学研究者による事業提案制度により構築した事業
- ア** : 東京の未来を創るアイデア募集によるアイデアを踏まえて構築した新規事業

凡例 3

- ③●●億円 : 令和3年度当初予算額
- (②●●億円) : 令和2年度当初予算額
- (②補正計上) : 令和2年度補正予算において新たに計上した事業
- (②繰越見込額 ●●億円)
: 東京2020大会の延期に伴う令和2年度から3年度への繰越見込額
- ③債務負担 : 令和3年度当初予算において債務負担行為として定めた事業

新	➤ ●●●●●●●●●●事業【●●】		③●●●億円（新規）
	・ 事業説明	
大学	➤ ●●●●●●●●●●事業【●●】		③●●●億円（②●●●億円）
	・ 事業説明	
ア	➤ ●●●●●●●●●●事業【●●】		③●●●億円（②補正計上）
	・ 事業説明	
	➤ ●●●●●●●●●●事業【●●】		③●●●億円（②●●●億円）
	・ 事業説明	
	➤ ●●●●●●●●●●事業【●●】		③債務負担（令和●年度●●●億円）（新規）
	・ 事業説明	

凡例 2

表 記	事 業 所 管 局
政 企	政 策 企 画 局
都 安	都 民 安 全 推 進 本 部
総 務	総 務 局
財 務	財 務 局
デ ジ	デ ジ タ ル サ ー ビ ス 局
主 税	主 税 局
生 文	生 活 文 化 局
オ リ	オ リ ン ピ ッ ク ・ パ ラ リ ン ピ ッ ク 準 備 局
都 整	都 市 整 備 局
住 政	住 宅 政 策 本 部
環 境	環 境 局

表 記	事 業 所 管 局
福 保	福 祉 保 健 局
病 院	病 院 経 営 本 部
産 労	産 業 労 働 局
建 設	建 設 局
港 湾	港 湾 局
教 育	教 育 庁
警 視	警 視 庁
消 防	東 京 消 防 庁
交 通	交 通 局
水 道	水 道 局
下 水	下 水 道 局

I 「人」が輝く、誰もがいきいきと活躍できる都市

子供の笑顔と子供を産み育てたい人で溢れる東京、全ての子供・若者が将来への希望を持って自ら伸び、育つ東京、高齢者が元気に活躍する東京、誰もが希望に応じた生き方を選択し、自分らしく輝ける東京、様々な人が共に暮らし、多様性に富んだ東京、居場所やコミュニティが地域の至る所に存在する東京の実現に向けた施策を展開していきます。

1 子供の笑顔や子供を産み育てたい人で溢れる社会の実現 ③2,929億円（②2,746億円）

■ 結婚・妊娠・出産から子育てまでの切れ目ない支援 ③408億円（②283億円）

- **結婚応援イベントの開催【生文】** ③0.2億円（②0.1億円）
結婚を希望しながらも、一歩踏み出せない方の後押しや、結婚に向けた気運醸成のため、結婚や自分の未来について考える機会となるイベントを開催
- **TOKYOふたり結婚応援パスポート【生文】** ③0.1億円（②0.4億円）
婚約・新婚カップルを対象に、協賛店で様々なサービスを受けられるパスポートを交付

事業内容

協賛店とともに、結婚するふたりを祝福し、社会全体の結婚に向けた気運を醸成

[手続]

- ・アプリ等を通じて交付したパスポートを協賛店に提示

[結婚応援サービス]

- ・料金割引、記念品プレゼント、ふたりの思い出作りのお手伝い等

[協賛店]

- ・結婚準備や新生活関連をはじめ様々な分野の企業・店舗等



- **不妊検査等助成【福保】** ③5億円（②5億円）
早期に検査を受け、必要に応じて適切な治療を開始するために、夫婦間（事実婚を含む）の不妊検査及び一般不妊治療に係る費用の一部について助成

➤ **不妊治療費助成【福保】**

③55億円（②35億円）

不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されず、高額な医療費がかかる夫婦間（事実婚を含む）の特定不妊治療に係る費用の一部について、男性に対する不妊治療も含めて助成（規模：②延16,753人→③延22,702人）

拡充内容

[令和2年12月まで]

区分	国制度
助成額	1回 15万円 (初回のみ30万円)
助成回数	生涯で通算6回まで (40歳以上は3回)
対象年齢	妻の年齢が43歳未満
婚姻の有無	法律婚のみ
所得制限	730万円未満 (夫婦合算の所得)
負担割合	国1/2・都1/2



都上乗せ
2回目以降は一部に 5~10万円を加算
-
-
事実婚も対象
905万円未満 (夫婦合算の所得)
都10/10



[令和3年1月から]

国新制度
1回 30万円
1子ごと通算6回まで (40歳以上は3回)
妻の年齢が43歳未満
事実婚も対象
撤廃
国1/2・都1/2

新 ➤ **若年がん患者生殖機能温存治療費助成事業【福保】**

③ 1億円（新規）

がん治療により、生殖機能が低下するまたは失うおそれがある若年がん患者に対して、生殖機能温存治療等に要する経費を助成

事業内容

[対象]

- ・ 40歳未満のがん患者（ただし、凍結更新及びがん治療後の妊娠のための治療は43歳未満）
- ・ 「生殖機能温存治療～妊娠のための治療」を一体的に受ける者

[助成内容]

① 生殖機能温存治療

保存方法	助成上限額
受精卵凍結	40万円
卵子凍結	30万円
卵巢凍結	70万円
精子凍結	5万円 (手術 30万円)

② 凍結更新

助成上限額
3万円/年

③ 妊娠のための治療

保存方法	助成上限額
受精卵凍結	10万円/回
卵子凍結	20万円/回
卵巢凍結	卵巢組織移植：60万円 受精卵移植：40万円/回
精子凍結	受精卵移植：40万円/回

* 国の動向により、助成額は変動の可能性あり

[助成回数]

- ① 生殖機能温存治療：1回
- ② 凍結更新：妊娠のための治療を通算6回受けるまで（1子ごと、40歳以上は3回まで）
- ③ 妊娠のための治療：6回まで（1子ごと、40歳以上は3回まで）ただし、卵巢組織移植は1回まで

➤ **とうきょうママパパ応援事業【福保】** **③30億円（②27億円）**

妊娠・出産期から子育て期にわたる切れ目ない支援が行われるよう、育児パッケージの配布や相談支援体制の構築等、区市町村の取組を支援（規模：53自治体→62自治体）

新 ➤ **妊産婦に対するオンライン相談【福保】** **③0.2億円（新規）**

コロナ禍において、妊産婦が抱える不安に対応するため、助産師によるオンライン相談を実施

➤ **LINEチャットボット「妊娠したかも相談@東京」【福保】** **③0.1億円（②4百万円）**

妊娠相談ほっとライン（電話・メール）につながる前の手段としてのLINE相談について、予期せぬ妊娠等に関する悩みに対応するため、更に普及啓発を強化

大学 ➤ **けんこう子育て・とうきょう事業【福保】** **③0.3億円（②1億円）**

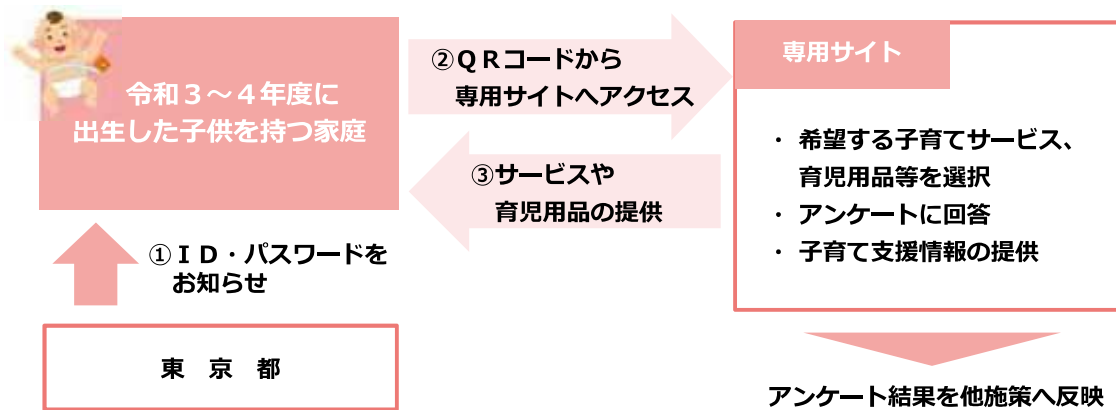
妊産婦や子育てが家庭の不安感・負担感を軽減させるため、ニーズに応じた子育てスキルを提供することにより、子供の健やかな成長と虐待の未然防止を推進

新 ➤ **東京都出産応援事業～コロナに負けない！～【福保】** **③101億円（新規）**

コロナ禍において、これから子供を産み育てたいと考えている家庭を応援・後押しするため、子育て支援サービスの利用や育児用品等の購入に係る経済的負担を軽減するとともに、あわせて具体的な子育てニーズを把握し、今後の施策へ反映

事業内容

【対象者】 令和3～4年度に出生した子供を持つ家庭 【配布内容】 子供一人当たり10万円分



新 ➤ **チーム2.07プロジェクト【政企】** **③3億円（新規）**

「チルドレンファースト」の社会を創出することを目的として、東京都、区市町村、民間企業、大学、NPO等が連携し、社会のマインドチェンジを促す「チーム2.07」ムーブメントを推進など

■ 多様な保育サービスの充実に向けた取組 **③2,174億円（②2,148億円）**

➤ **待機児童解消区市町村支援事業【福保】** **③220億円（②260億円）**

保育の実施主体である区市町村が行う地域の実情に応じた取組を支援し、保育サービスを拡大

▶ **保育従事職員宿舍借り上げ支援事業【福保】** **③102億円（②69億円）**

保育従事職員の宿舍借り上げ支援を行う区市町村に対して、その経費の一部を補助
（規模：②20,175人→③28,073人）

▶ **ベビーシッター利用支援事業【福保】** **③8億円（②8億円）**

待機児童の保護者、育児休業を1年間取得した保護者及び突発的な事情等により一時的に保育を必要とする保護者が認可外のベビーシッターを利用する場合の利用料の一部を補助するとともに、保育の質の向上に取り組む事業者を支援

事業内容

◆ 引き続き、**保育サービスの充実策として活用**

対象	都・区市町村負担	利用上限
待機児童の保護者	都 7/8、区市町村 1/8	保育短時間認定 1日8時間 かつ月160時間 保育標準時間認定 1日11時間かつ月220時間
育休満了者	都 10/10	

◆ 全ての子育て世帯が使える「一時預かり」について、**対象年齢、利用時間、利用上限を引き上げ**

	対象児童	利用時間帯	利用上限	補助基準額
令和2年度	0～2歳児	月～土曜日 7時～22時	年96時間／児 （多胎児の場合192時間／児）	1時間当たり2,500円

令和3年度	未就学児	24時間 365日	年144時間 （多胎児の場合288時間／児）	1時間当たり2,500円 （夜間帯利用の場合3,500円）
-------	------	--------------	---------------------------	----------------------------------



新 ベビーシッターを安全・安心に利用できるよう、**認定事業者の保育の質の向上に向けた取組を支援**

対象事業	対象経費	補助額
(1) 認定事業者による巡回支援	① 巡回支援に要する人件費 ② 巡回支援に要する交通費	① 2,000円／時間 ② 上限1,000円／回
(2) 安全・安心な利用に資する備品購入	ウェブカメラ機器	37,000円／台
	クラウド録画費用	8,000円／月

▶ **保育所等利用多子世帯負担軽減事業【福保】** **③96億円（②75億円）**

児童が2人以上いる世帯に対し、私立認可保育所等に通う実際の第2子、第3子以降の保育料の利用者負担分について、負担軽減を行う区市町村を支援

など

■ 児童養護等の充実

③347億円 (②315億円)

➤ 児童相談所の体制強化【福保】 ③6億円 (②3億円)

虐待相談件数が増加していること等を踏まえ、児童相談所の体制を強化

拡充内容

◆ サテライトオフィス等の拡大 ③0.8億円

・各区の意向を踏まえ、都児童相談所のサテライトオフィスや一時保護所を整備

大学 ➤ 児童相談所情報標準化・人材育成事業【福保】 ③0.4億円 (②0.2億円)

精度の高い虐待リスク判定を可能とするプログラムを開発し、児童虐待の未然防止・早期発見及び児童福祉司等の人材を育成

新 ➤ 都児童相談所と子供家庭支援センターの連携による予防的支援の推進【福保】 ③1億円 (新規)

区市町村に予防的支援チームを設置し、アドバイザーからの助言と関係機関との連携により、支援対象家庭の抽出と支援を行うモデル事業を実施することで、予防的支援の方法を確立

➤ 未就園児等全戸訪問事業【福保】 ③8百万円 (②8百万円)

未就園児等で行政機関等との接点が少ない家庭への訪問を実施し、児童の安全確認及び養育環境の把握を行う区市町村を支援 (負担割合：国1/2、都1/4、区市町村1/4)

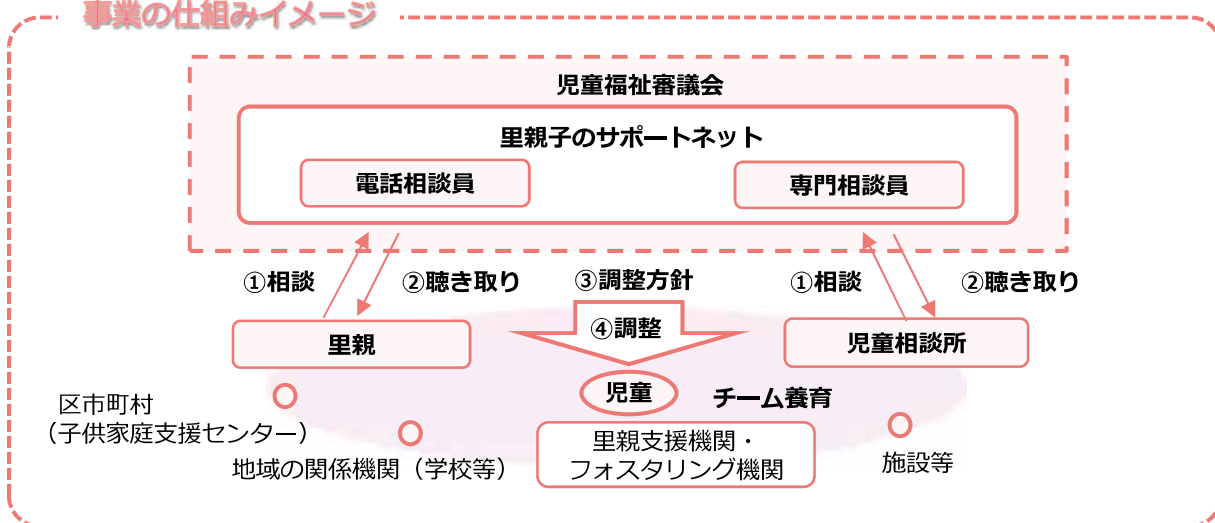
新 ➤ 児童福祉人材の確保・育成【福保】 ③1億円 (新規)

東京の福祉のセーフティネットを担う質の高い人材を安定的に確保し、定着へとつなげるため、総合的な取組を実施

新 ➤ 里親養育専門相談事業 (里親子のサポートネット)【福保】 ③0.1億円 (新規)

チーム養育の中で調整できなかった課題や疑問について、専門相談員が第三者の立場から、里親や児童相談所の意見を聴き、調整する仕組みを児童福祉審議会のもとに設置することにより、子供の利益を守るとともに権利を擁護

事業の仕組みイメージ



など